

2020年8月4日
日本ユニシス株式会社

日本ユニシス 急拡大するキャッシュレスニーズを受け株式会社 pring との連携検討を開始 ～ニューノーマルへ、経費精算金を好きなデジタルマネーで受け取り可能に～

日本ユニシスは、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響で高まるキャッシュレスニーズに対応するため、価値交換基盤「doreca」のサービス拡充を進めており、給与前払いにおけるデジタルマネー受け取りに続き、経費精算分野のキャッシュレス化を目指し、株式会社 pring（以下、pring 社）との連携検討を開始しました。

pring 社が保有する経費精算サービス「業務用プリン」と連携することで、デジタルマネーpringでの受け取りに加え、「doreca」と接続するデジタルマネーでの経費精算金の受け取りが可能となります。

キャッシュレスサービスが多く存在する現在において、利用者の利便性を求める声は日々増しており、pring 社と連携することにより、経費精算分野におけるデジタルマネーの促進と利便性の向上を目指していきます。

【背景】

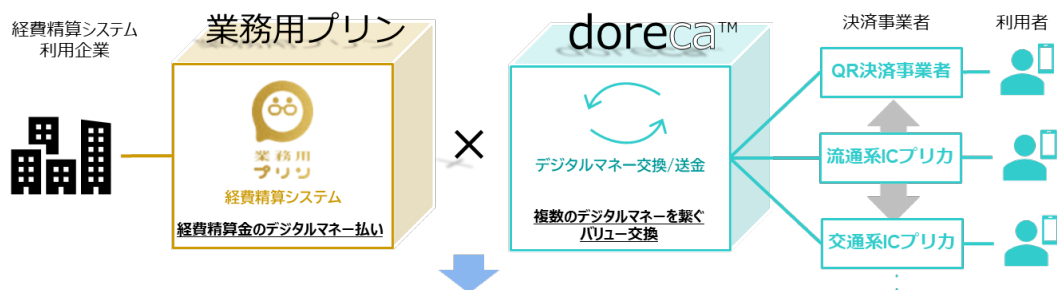
日本国内でのキャッシュレス決済の機運が高まる中、新型コロナウイルスによって非接触決済手段のデジタルマネーが担う役割は大きく、デジタルマネー決済のニーズと利用シーンの拡大が期待されます。このような社会ニーズに応えるべく、日本ユニシスは価値交換基盤「doreca」のサービス拡充を進めています。

この度、日本ユニシスは「doreca」のさらなるサービス拡充に向け、給与前払いにおけるデジタルマネー受け取りに続き、経費精算分野においてより一層のキャッシュレス化を目指し、同分野にてサービス展開をしている pring 社と連携検討を行うことで合意しました。

今後、pring 社と連携することにより、デジタルマネーpringだけでなく、「doreca」と接続する複数のデジタルマネーでの経費精算金の受け取りを実現し、経費精算分野におけるデジタルマネーの促進と利便性の向上を目指していきます。

【連携に向けた検討内容】

本連携検討では、「doreca」が有する「複数デジタルマネー間の残高移行・交換機能」と、「業務用プリン」が有する「経費精算金をデジタルマネーpringで支払う機能」との連携により、pring 以外にも利用者が希望するデジタルマネーでの支払いも可能とすることによる利便性向上を目指します。



経費精算金の複数デジタルマネーでの受取が可能
利用者のデジタルマネー利便性の更なる向上

【今後の展開】

今後、日本ユニシスは経費精算分野のデジタルマネー支払いの拡大を目指すとともに、乱立するデジタルマネーを繋ぐエコシステム構築に向けた更なる領域拡大とパートナー開拓活動を行うことで、キャッシュレス社会の推進の一助を担っていきます。

以 上

■ 価値交換基盤「doreca」について

「doreca」は、QR 決済・交通・流通系 IC・ハウスカードなどへのオンラインチャージを可能とする電子マネーチャージプラットフォームサービスです。

■ 「業務用プリン」について

「業務用プリン」は、「送金アプリ pring」を通して、法人から、個人のスマホに送金ができるサービスです。経費精算や業務委託報酬の支払いなど、これまで煩雑だった従業員や取引先とのお金のやりとりを、個人のスマホに送金することで解決します。

■ 関連 URL

- ・ 価値交換基盤「doreca」 <https://smarttown.jp/casestudy/cashless/360>
- ・ 株式会社 pring <https://www.pring.jp/>
- ・ 法人から個人のスマホに送金が可能な「業務用プリン」 <https://www.pring.jp/business/>
- ・ 2020 年 5 月 19 日付ニュースリリース
日本ユニシス価値交換基盤「doreca」のトライアル提供を開始
https://www.unisys.co.jp/news/nr_200519_doreca.pdf
- ・ 日本ユニシス スマートタウンポータルサイト <https://smarttown.jp/>

※doreca は、日本ユニシス株式会社の商標です。

※業務用プリンは、株式会社 pring の商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/